

DIGプログラミング基礎_最終報告

～『発表者順レーレット』～

2026.2.20
TMC 南有里

DIG受講きっかけと自己評価

■ DIG教育受講きっかけ

Web開発の基礎を身につけ、業務での効率化に繋がりたい。

■ 受講前～終了までの学習推移

前半)

- ・ 何とか授業についていくことを優先。
- ・ 基礎項目を「理解する」ところまでで精一杯。

中盤)

- ・ 他メンバーの学習方法を参考に、復習時間を計画実施。
- ・ 内容が複雑になり、理解できているか自信が持てない状態。

後半)

- ・ 授業についていくことで精一杯になり、挫折も考えた。
- ・ チームペアリング学習で、メンバーからのアドバイスや、温かい対応に支えられ、どうにか最終日まで取り組む事ができた。

■ 自己評価 ■ 主な習得項目

① 基本文法

- ・ 変数・基本



- ・ const / let の使い分けは理解できた。
- ・ 文法自体は読めるが、書く時に迷う場面あり。

② データ操作

- ・ 配列
- ・ メソッド



- ・ 配列（length / push）は実装で実際に使用。
- ・ メソッドの役割を理解し、使える状態。

③ ロジック構築

- ・ 繰り返し
- ・ 条件分岐
- ・ 関数



- ・ 「入力 → 処理 → 出力」で考える習慣がついた。
- ・ 関数名や処理の組み立てに時間がかかる。

④ 概念理解

- ・ クロージャヤー
- ・ DOM/CSS



- ・ 概念としては理解できた、
- ・ 自分で一から書けるレベルには未到達。

コードの意味は理解できるが、実際に書くには時間がかかる。また、コードの説明力も課題。

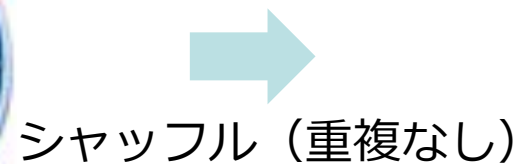
最終目標：「会議の発表者順を決めるルーレット（JavaScript）」

◎ 想定機能（優先度順）

- ・ 候補（氏名）を入力 → 配列化（必須）
- ・ ボタンでシャッフルして全員の順番を出す（必須）
- ・ 選出履歴 / 発表済み除外（拡張）
- ・ 視覚的アニメ：結果を上から順にフェードインで表示（拡張）

～イメージ図～

候補者入力（カンマ区切り）



結果一覧
1番：Aさん
2番：Bさん
3番：Cさん
4番：Dさん
.....

① 候補入力（カンマ区切り） → ② 回す（シャッフル実行） → ③ 結果一覧（上から順に表示）

（補足）将来的には発表済み除外や見た目のアニメを追加

コード作成までの手順

①ポイント抽出

「候補から重複なく全員の順番を作る」
→ 以下、小タスクに分解する

- 1.配列を作る（候補を格納）
- 2.残り候補からランダムに1つ選ぶ
- 3.選んだ要素を配列から削除する
- 4.これを繰り返す（forループ）

② 調査

各小タスクを日本語で検索 ■ 必要な関数をMDN/Googleで検索
(検索ワード)

目的（コード中で何をしているか）	確認する関数／式
一連の処理をまとめて再利用できるようにする	Function makeRandomOrder（自作）
配列 items からランダムに要素を選ぶ方法	Math.random()
ランダムな小数を整数の添え字にする方法	Math.floor()
0～items.length-1 のランダムインデックスの式	idx = Math.floor(Math.random() () * items.length)
選んだ要素を結果配列 order に追加する方法	order.push
選んだ要素を items から削除して重複を防ぐ方法	items.splice

③疑似コード織り込んだコード作成

```
const items = ["Aさん", "Bさん", "Cさん", "Dさん"];  
//発表候補の名前を並べた「名簿」  
  
function makeRandomOrder() {  
  //関数を呼び出すと、items 配列からランダムに名前を取り出し、order 配  
  列に追加  
  
  const order = []; // 結果を入れる箱（order）を用意する。  
  
  while (items.length > 0) {  
    //itemsに残っている人数分：items 配列が空になるまでループ  
  
    const idx = Math.floor(Math.random() * items.length);  
    //itemsの中からランダムに選んだ要素のインデックスを取得  
  
    order.push(items[idx]);  
    //その位置にいる人の名前を取り出して、選んだ要素を order 配列に追加  
  
    items.splice(idx, 1);  
    //選んだ要素を items 配列から削除  
  }  
  return order;  
  // 全員分取り出したら、結果の箱（order）を返す／表  
}  
//テスト用  
const result = makeRandomOrder();  
console.log(result);
```



今後のスケジュール（マイルストーン）

2月20日（最終報告後）～3月末

- ◎DIG基礎の復習と演習問題を 1日1時間程度 継続
- ◎最終目標
「会議の発表者順を決めるルーレット（JavaScript）」を完成させる

4月以降

- ◎DIGで学んだ JavaScript を自業務で使用することを目的に発展
- ◎業務に必要な内容を題材に、小さなツール・画面を作成していく

JavaScriptの考え方



DIGで学んだこと



業務でも情報整理・情報発信



■ 今後やりたいこと（業務へのつなげ方）

- ・JavaScriptの考え方（入力→処理→表示）を業務改善に活かす。
- ・業務に関わる最新情報を、分かりやすく表示できる仕組みを学習・作成していく。